



河辺市民サービスセンター

祝

リニューアルオープン記念式典

～市町合併20周年～

3月22日に河辺市民SCで
開催された記念式典の様子



あきた 市議会だより

No.198

令和7年
5月2日

秋田市議会ではLINEによる情報発信をしています。

LINEの「友だち追加」から「ID検索(@akitacity_gikai)」

または右のコードから登録できます。



3月15日に通常開園した大森山動物園の様子

2月定例会の概要		P 2～4
2月定例会の議決結果		P 5～7
代表質問		P 8～10
傍聴者の声		P 10
一般質問		P 11～12
あきた市議会だよりへの広告掲載		P 12
予算決算委員会各分科会の審査から	...	P 13～14
6月定例会のお知らせ(予定)		P 14

2月定例会の概要

2月12日～3月18日

2月定例会では、令和7年度一般会計予算などの予算案16件、秋田市立佐竹史料館条例を設定する件などの条例案27件、単行案10件および令和6年度の補正予算案15件を全て可決しました。また、人事案4件に同意したほか、議員提案による条例案等3件を可決しました。

令和7年度当初予算

全会計合計 2,673億3,491万1千円

一般会計	1,483億9,000万円	対前年度増減率 3.1%
特別会計	736億5,724万3千円	-0.2%
企業会計	452億8,766万8千円	2.0%

一般会計予算 1,483億9,000万円の内訳

民生費
約566億円



総務費
約189億円



土木費
約169億円



公債費
約136億円



教育費
約128億円



衛生費
約108億円



商工費
約97億円



その他

消費費 約50億円
農林水産業費 約26億円
議会費 約7億円
労働費 約5億円
など

令和7年度当初予算

次期秋田市総合計画 策定経費

6年度に実施した市民意識調査の結果を踏まえるとともに、「秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との統合を図りながら、市民ニーズや社会経済情勢を反映した新たな総合計画を策定します。

395万2千円

外旭川地区まちづくり事業 推進経費

外旭川地区まちづくりに関する取り組みの具体的な検討を進め、同地区まちづくり事業の推進を図ります。

980万円

秋田市水防センター(仮称) 整備事業

秋田地区河川防災ステーションの整備に併せて、洪水時の巡視・警戒や水防訓練等を行う水防活動の拠点となる(仮称)秋田市水防センターを設置します。

・建設工事、設計・工事監理、有事利用に向けた備品等の整備

4億8千995万7千円

戦後80年平和祈念事業

戦後80年を迎えるに当たり、恒久的な平和意識の高揚や次世代への継承を図るため、平和祈念事業を実施します。

①戦後80年記念行事開催経費

②国際平和絵画コンクール

※13ページに関連記事掲載

高齢者等デジタル活用 支援事業

民間企業との共同事業により、スマートフォン相談窓口を設置するとともに、出前講座「はじめてのスマートフォン教室」を開催し、高齢者をはじめとする市民のデジタル活用を継続的に支援します。

319万8千円

秋田市シティプロモーション 推進事業

本市の魅力度および認知度向上を図るプロモーションと、市民のまちへの誇りと愛着を醸成する取り組みを行います。

1千327万5千円



保戸野地区コミュニティセンター空調設備更新経費

保戸野地区コミュニティセンターにおいて、空調設備の一部に故障が発生していることから、利用者の利便性の向上等を図るため、空調設備更新工事を行います。

- ・空調設備 ガスヒートポンプ式
- ・施設概要 多目的ホール、事務室、調理室、会議室等
- ・延べ面積 1千93・46平方メートル

6千370万円



保戸野地区
コミュニティセンター

遠隔医療推進事業費補助金

遠隔医療を推進し、市内の医療機関が少ない地域等での医療提供体制の強化を図るため、秋田大学医学部附属病院が運用している遠隔医療システム搭載車両の医療機器等の整備に要する費用を支援します。

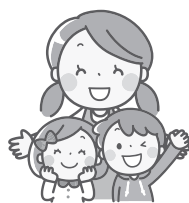
561万6千円

※13ページに関連記事掲載

こども誰でも通園制度補助事業

満3歳未満の在宅児が柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度」を実施する施設等に対して補助します。

654万1千円



地域支え合いセンター運営事業

5年7月豪雨および9月大雨災害被災者の生活再建支援のため、秋田市社会福祉協議会に地域支え合いセンターの運営を委託し、見守り支援や、各種支援機関・団体との連携による包括的な支援を行うほか、継続的な訪問支援を効率的に実施するため、訪問支援や地域サロン運営のためのシステムを本格導入します。

3千411万7千円

災害弔慰金支給事業

5年7月豪雨により災害関連死と認定された市民の遺族に対して災害弔慰金を支給します。

1千20万7千円

デジタル人材Aターン就職促進事業

デジタル人材の本市への就職や転職、移住を促進するため、県外在住の学生や社会人を対象に市内IT企業とのマッチングイベントを開催します。

42万1千円

雄和ふるさと温泉大規模改修事業

老朽化が進んでいる雄和ふるさと温泉の施設機能向上を図るため、大規模改修工事を実施します。

7年度予算額

8億6千64万9千円

(参考)

継続費総額

13億8千273万8千円
(7年度から8年度まで)



雄和ふるさと温泉
ユアシス

地方卸売市場再整備事業

安全・安心な生鮮食料品等を市民へ供給する卸売市場としての役割を果たしていくため、施設や設備の老朽化が進む卸売市場の再整備事業を行います。

・再整備手法見直しに伴う技術支援業務

1千441万円

市場開設50周年記念事業

7年3月に卸売市場が開設50周年を迎えることから、本市と市場内事業者で実行委員会を組織し、記念事業を実施するため、その事業費の一部を負担します。

170万円

アグリビジネス支援事業

農業者等を対象に加工技術研修を実施することで、アグリビジネスに取り組む人材を育成するほか、アグリビジネス関連の普及・啓発を図ります。

847万5千円

佐竹史料館開館準備経費

7年10月の開館に向け、周辺環境の整備や来館者用備品の購入などを行います。

8千421万9千円

動物園施設等整備事業

動物園と園内遊園地の運営に直接影響のある電気設備の更新およびネーミングライツ・パートナー料を活用し、チンパンジー舎温風暖房機交換修繕を行います。

7千508万9千円

秋田駅東西連絡自由通路止水板設置経費

雄物川下流域域水災害対策プロジェクトの一環として、秋田駅東西連絡自由通路の昇降機および電気設備について、浸水被害を防止するための止水板を設置します。

2千400万円

溶融施設工場棟換気設備機能維持修繕経費

経年劣化による故障が頻発している総合環境センター溶融施設工場棟の換気設備について、作業環境の改善および溶融炉の停止要因排除のため、計画的な取り換え修繕を行います。

7年度予算額

6千670万円

(参考)

継続費総額

1億2千980万円
(7年度から8年度まで)

公用車（圧雪車）更新経費

太平山スキー場のゲレンデ整備車として使用している圧雪車の老朽化に伴い車両を更新します。

・圧雪車更新 1台
6千820万円

古川流域治水対策事業

普通河川古川流域の浸水被害の軽減に向けて、国、県、市の3者が連携し、総合的な治水対策を実施します。

・古川排水機場整備 本体整備、機電設備整備、操作棟建築、工事監理業務委託

7年度予算額

13億3千570万円

（参考）

継続費総額

44億5千150万円
（5年度から7年度まで）



古川排水機場の整備イメージ図

マイタウン・バス運行事業

市民の移動手段の確保と充実を図るため、郊外部におけるマイタウン・バスの運行を継続するとともに、引き続き本市に適した公共交通の具体化について関係機関等と協議・検討を行います。

7年度予算額

2億3千990万6千円
債務負担行為設定
1億4千88万8千円



ごみ集積所管理システム更新経費

ごみ集積所管理システムのサーバーをクラウド化することで大規模な災害や機械的な故障等によりシステムが使用できなくなるリスクを回避するとともに、ペーパーレス化するための機能拡張を行うことで、発災時における災害廃棄物収集・運搬業務の効率化・迅速化を図ります。

171万6千円

令和6年度補正予算

物価高騰対応関連事業

私立保育所等物価高騰対策事業

私立保育所等に対し、給食費の一部を補助します。
対象施設 90施設
補助率 県2分の1、市2分の1
3千599万1千円

公共交通事業継続支援事業

公共交通事業者に対し、車両台数に応じて補助します。

対象 市内に主たる営業所等を有する路線バス事業者およびタクシー事業者
補助額 バス1台当たり20万円、タクシー1台当たり5万円

5千600万円

小学校施設等改修経費

教育環境の改善を図るため、学校施設の改修等を行います。

・給水設備改修 河辺小学校
・外壁改修 四ツ小屋小学校、旭南小学校、仁井田小学校
2億4千242万3千円

条例

秋田市立佐竹史料館条例を

設定

佐竹史料館を設置し、観覧料等を定めるため、設定しました。

施行期日 規則で定める日から

議員提案による条例等の改正

秋田市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、規定を整備するため、改正しました。

施行期日 7年4月1日から

秋田市議会委員会条例および秋田市議会会議規則の一部を改正

地方自治法の一部改正に伴い、委員会条例および会議規則に規定する各種手続きのオンライン化等について定めるとともに、規定を整備するため、改正しました。

施行期日 7年4月1日から

単行案

公立大学法人秋田公立美術大学定款の一部を変更する件

地方独立行政法人法の一部改正に伴い、定款の一部を変更しました。

秋田市東部市民サービスセンターの指定管理者を指定する件

指定管理者 東部地域づくり協議会

指定期間 7年4月1日から12年3月31日まで

秋田市雄和神ヶ村辺地に係る総合整備計画の一部を変更する件

秋田市雄和ふるさと温泉の改修に係る事業費を増額する必要が生じたため、計画の一部を変更しました。

人事

固定資産評価審査委員会委員

長谷部 弘 輝氏（再任）

人権擁護委員

今野 謙氏（再任）

寺沢 修平氏（再任）

伊藤 多香雄氏（新任）

2月定例会の議決結果

◆全員一致で可決した議案

全員一致で可決した議案は件名のみを掲載しています。

件 名	
市長提出	令和6年度秋田市一般会計補正予算（第11号）の件
	令和6年度秋田市一般会計補正予算（第12号）の件
	令和6年度秋田市一般会計補正予算（第13号）の件
	令和6年度秋田市土地区画整理会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市市有林会計補正予算（第1号）の件
	令和6年度秋田市市営墓地会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市公設地方卸売市場会計補正予算（第3号）の件
	令和6年度秋田市大森山動物園会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市廃棄物発電会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市国民健康保険事業会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市介護保険事業会計補正予算（第3号）の件
	令和6年度秋田市後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市水道事業会計補正予算（第2号）の件
	令和6年度秋田市下水道事業会計補正予算（第3号）の件
	令和6年度秋田市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）の件
	令和7年度秋田市土地区画整理会計予算の件
	令和7年度秋田市市有林会計予算の件
	令和7年度秋田市市営墓地会計予算の件
	令和7年度秋田市公設地方卸売市場会計予算の件
	令和7年度秋田市大森山動物園会計予算の件
	令和7年度秋田市廃棄物発電会計予算の件
	令和7年度秋田市病院事業債管理会計予算の件
	令和7年度秋田市学校給食費会計予算の件
	令和7年度秋田市母子父子寡婦福祉資金貸付事業会計予算の件
	令和7年度秋田市後期高齢者医療事業会計予算の件
	令和7年度秋田市水道事業会計予算の件
	令和7年度秋田市下水道事業会計予算の件
	令和7年度秋田市農業集落排水事業会計予算の件

←6ページに続きます。

◆全員一致で可決した議案 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

全員一致で可決した議案は件名のみを掲載しています。

件 名	
市 長 提 出	刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例を設定する件
	秋田市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する件
	秋田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する件
	秋田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する件
	秋田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する件
	秋田市市税条例の一部を改正する件
	秋田市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する件
	秋田市立佐竹史料館条例を設定する件
	秋田市議員報酬、報酬等の額およびその支給方法に関する条例の一部を改正する件
	秋田市文化施設における共通観覧券の発行に関する条例の一部を改正する件
	秋田市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する件
	秋田市感染症の診査に関する協議会条例の一部を改正する件
	秋田市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例を設定する件
	秋田市幼保連携型認定こども園の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
	秋田市子ども福祉医療基金条例を廃止する件
	秋田市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する件
	秋田市都市公園の設置に関する基準等を定める条例の一部を改正する件
	秋田市手数料条例の一部を改正する件
	秋田市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する件
	秋田市建築物エネルギー消費性能適合性判定等手数料条例の一部を改正する件
	秋田市低炭素建築物新築等計画認定等手数料条例の一部を改正する件
	秋田市消防団員の報酬及び費用弁償額並びにその支給方法条例の一部を改正する件
	秋田市水道事業給水条例の一部を改正する件
	秋田市水道事業等の設置等に関する条例の一部を改正する件
	秋田市農業集落排水施設条例の一部を改正する件
	秋田市職員給与条例等の一部を改正する件
	秋田市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例および秋田市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する件
単 行 案	公立大学法人秋田公立美術大学定款の一部を変更する件
	秋田市雄和神ヶ村辺地に係る総合整備計画の一部を変更する件
	秋田市雄和平尾島辺地に係る総合整備計画を定める件
	包括外部監査契約を締結する件
	秋田市仁井田地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市東部市民サービスセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市檜山地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	秋田市茨島地区コミュニティセンターの指定管理者を指定する件
	市道上北手牛島線牛島車輻基地跨線橋橋梁補修工事の施行に関する協定を締結する件
	旧秋田市文化会館解体工事請負契約の変更契約を締結する件

◆ 全員一致で可決・同意した議案

全員一致で可決等した議案は件名のみを掲載しています。

件 名		
市長提出	人事案	秋田市固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件 人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件（3件）
	議員提出	秋田市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する件 秋田市議会委員会条例の一部を改正する件 秋田市議会会議規則の一部を改正する件

◆ 賛否が分かれた議案等

賛否が分かれた議案等は各議員の表決状況を掲載しています。

件名		議決結果	秋水会					フロンティア秋田					自民党					公明党			そうせいと維新			共産党	市民ク	議長								
			荻原貴幸	細川信二	川口雅之	見上万里子	佐藤宏悦	伊藤一榮	渡辺正宏	小木田喜美雄	後藤良	船木純信	藤枝隆博	工藤新一	佐藤哲治	倉田芳浩	小林一夫	飯牟刈克年	工藤潤平	工藤知彦	安井正浩	伊藤巧一	熊谷重隆	小野寺誠	佐藤佳人		牧野正子	武田秀博	石塚翼	藤井格夫	菊地尚利	若松健	小松順子	奈良純悦
市長提出	令和7年度秋田市一般会計予算の件	可決	○					○	○	○	○	×	○	○	○	○					○			○	○	×	○	×	○			×	○	議
	令和7年度秋田市国民健康保険事業会計予算の件	可決	○					○					○					○			○			○			×	○				議		
	令和7年度秋田市介護保険事業会計予算の件	可決	○					○					○					○			○			○			×	○				議		
請願	家庭ごみ処理手数料の見直しについて	不採択	×					○	○	○	○	○	×	○	×	×					×			×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	議
陳情	デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出について	不採択	×					×					×					×			×	○	○	×	×	×	○			×	×	議		
	秋田拠点センターアルヴェきらめき広場の明るさ改善について	不採択	×					○	○	×	○	○	○	○	○	×					×			×			○			×	議			
	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充に関する意見書の提出について	不採択	×					○	○	×	○	○	○	○	○	×					×			×	×	○	×	○	×	○	×	議		
	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出について	不採択	×					○	○	×	○	○	○	○	○	×					○			○	×	×	○	○	×	○	議			
	地球から核兵器をなくし、核タブー及び平和の実現を求める意見書の提出について	不採択	×					○	○	×	○	○	○	○	○	×					×			○			○			○	議			
	訪問介護事業への支援について	不採択	×					○					×					×			×			×			○			×	議			
	訪問介護事業への支援を求める意見書の提出について	不採択	×					○					×					×			×			×			○			×	議			

- ★1 賛否は、賛成（○）と反対（×）で掲載しています。
○：賛成【可決・承認・認定・同意・採択】、×：反対【否決・不承認・不認定・不同意・不採択】、議：議長
- ★2 略記している会派の名称
「公明党」は公明党秋田市議会、「共産党」は日本共産党秋田市議会議員団、「市民ク」は市民クラブ

ホームページで議案書を公開しています。

2月定例会提出議案 ⇒



■ 請願・陳情について

請願書・陳情書は、趣旨を具体的に記載し、定例会の招集日の3日前（市の休日は算入しません）の午後5時までに、持参、郵送またはオンラインにより議長宛てに提出してください。
※令和7年4月から、オンラインによる受け付けを開始しています。

ご不明な点は、議会事務局議事課までお問い合わせください。
電話 018（888）5784

詳細はホームページにも掲載しています。⇒



代表質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 →
(代表質問)

本会議の録画映像 →



人口減少対策の残された課題 公民連携による人口減少対策

フロンティア秋田
ふじた まこと
藤田 信



◇人口減少に関する市長の政治姿勢◇少子化対策◇社会減対策◇人口減少下における本市経済の成長◇人口減少下における行政運営

問 穂積市政4期16年の人口減少対策について、今後に残された課題は何ですか。

答 依然として出生数の減少や若い世代の転出超過が続いていることが課題であり、市民意識調査で明らかになった市民ニーズを踏まえ、魅力的で安定した雇用の場の創出や、結婚・出産・子育ての希望をかなえる取り組みに注力する必要があります。そのため、次代を担う若い世代の声をこれまで以上にすくい上げ、若い世代が将来に希望を持ち、自らの夢に向かってチャレンジできる「未来を思い描けるまちづくり」を目指していきたいと考えています。

問 公民連携による秋田市人口問題研究会（仮称）を設立する考えはないのとこのですが、現状の体制で効果的な人口減少対策が可能と考える根拠は何ですか。

答 本市は、総合計画推進の視点として市民協働を位置付け、課題解決に向け、多様な主体と連携することを行行政の基本としています。庁内では、庁内連絡協議会を設置し、公民連携による各部局の課題認識等を共有しているところです。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たり、さまざまな主体の外部有識者からなる検証委員会を設置し、各施策の検証結果等を翌年度の取り組みに反映させています。このように、本市ではさまざまなステージで、多様な主体の意見を取り入れていたため、効果的な人口減少対策に取り組むことができていると考えています。

卸売市場余剰地の利活用 近隣自治体との合併

自民党
いとう こういち
伊藤 巧一



◇市長の政治姿勢◇水災害対策プロジェクト◇消防◇ごみ処理広域化の検討◇市町合併後の20年と過疎地域の今後◇投票率の向上に向けた取組

問 卸売市場の再整備により生じる余剰地に、災害備蓄品の保管拠点やヘリポートを整備してはどうですか。

答 卸売市場の余剰地については、令和7年度に行う予定のまちづくり基本計画の見直しの中で、卸売市場の再整備における市場使用料の軽減を図る方針を踏まえつつ、提案のあった災害備蓄品の保管拠点やヘリポートの整備も含め、新たな相乗効果を生み出すことができる利活用策について、幅広く検討していきたいと考えています。



問 今後、近隣自治体との令和の合併はあり得るのですか。

答 人口減少・少子高齢化が進行する中、持続可能な行財政運営を追求し、簡素で効率的な組織体制の下で住民サービスを維持・提供することは、地方自治体に課せられた責務であり、市町村合併や広域連携は、自治能力の向上を図るための手段の一つであると捉えています。今後の合併については、社会情勢の変化に応じて、各自自治体の歴史や将来像なども踏まえながら、自治体、地域住民、議会の意味に基づいて判断されるべきものと認識しています。



■本会議を生中継しています

本会議は、秋田ケーブルテレビ（デジタル121ch）およびホームページの動画配信により、全日程を生中継しています。開始時間は、午前10時を予定していますが、都合により遅れることもありますので、ご了承ください。

6月定例会の本会議は、6月4日、13日、16日、17日、27日に開催予定です。

本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

代表質問



新規卒業者の地元就職促進等
魅力ある雇用の場の創設

秋水会
伊藤 一榮
いとう かずえい

◇令和7年度当初予算案◇人口減少及び少子化対策◇中心市街地活性化◇卸売市場の再整備◇新スタジアムの整備◇外旭川地区まちづくり◇本市財政の見通し等◇平和祈念式典◇生きる力を育み、生きる力を思いやる、秋田市に

問 近年の若者の県外への転出状況と推移をどのように認識しているのですか。また、高校・大学の新規卒業者の地元就職をどのように促進していくのですか。

答 本市の人口動向は、令和2年に75人の転入超過となりましたが、近年は、進学等による転出が拡大し、6年は558人の転出超過となっています。とりわけ若年女性の減少は、子どもの減少に直結しており、将来にわたって市民生活等に大きな影響を及ぼすものと認識しています。また、新規卒業者の地元就職促進については、企業の採用活動にかか

る費用を補助しているほか、高校生就職支援講座や大学での企業説明会の開催等を行っており、引き続き、関係機関との連携を深めながら、各種事業の充実を図っていきます。

問 若者や女性が就職を希望する魅力ある雇用の場を創設するため、7年度は新規事業を含め、具体的にどのように取り組んでいくのですか。

答 本市では、若い世代や女性の活躍が期待されるIT関連産業などを主なターゲットとした誘致活動を展開し、直近3年間で27社を誘致したところであり、引き続き、県と連携した取り組みを進めていきます。また、7年度は新たに、首都圏や仙台市で、Aターン希望者と市内IT企業とのマッチングイベントを開催するなど、若者や女性に魅力ある雇用の場の創出に取り組んでいきます。



市職員の特別休暇の新設
生物多様性保全の普及啓発

そうせいと維新
菊地 格夫
きくち たかお

◇市長の政治姿勢◇令和6年度包括外部監査の結果報告への対応◇新年度当初予算案及び財政運営◇防災安全対策◇人口減少対策◇デジタル化の推進◇観光文化政策◇女性活躍・男女共同参画◇福祉行政◇子ども施策◇環境政策◇熊対策及び生物多様性◇本市における再生可能エネルギー施策の展望◇教育行政

問 県内自治体の動向を踏まえ、市職員における里親研修のための特別休暇の新設をどのように考えているのですか。

答 里親研修のための特別休暇については、里親を希望する職員の支援につながるものと捉えています。導入している自治体が少ないことから、引き続き他の自治体等の動向を注視し、研究してまいります。

問 クマ対策のために設置したAI認識型の自動撮影カメラの画像を利用した市民向け講座など、生物多様性保全の普及啓発に向けた具体的な施策を展開していく考えはありませんか。

答 自動撮影カメラの画像は、クマ対策で撮影をしているものではありませんが、シカやキツネなど、本市の豊かな自然の中で生きる野生動物のリアルな姿を写している場合があります。こうした画像は、野生動物への興味関心を高め、生物多様性保全のさらなる普及啓発に資することから、現在行っている環境学習講座や環境教室などの機会を捉えて活用してまいります。



■本会議の傍聴について

本会議は、ケーブルテレビで生中継、インターネットで生中継および録画配信しています。傍聴されている方も映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

また、議場には、磁気ループシステムを設置しています。補聴器をお使いの場合は“T”モードに切り換えてください。専用受信機も用意していますので、希望される方は傍聴受付にお申し出ください。

代表質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 ⇒
(代表質問)



本会議の録画映像 ⇒



空き家対策の課題 災害情報管理システム

公明党秋田市議会
まきの
牧野 まもる
守

◇市長の政治姿勢◇令和7年度当初予算案◇災害対策等◇空き家対策◇農地を適正に管理する取組◇農業振興◇まちづくり◇GIGAスクール構想における1人1台端末の更新◇認知症の行方不明者対策の強化

問 空き家相談の件数が増加してきたことによって、新たに増えてきた課題は何か。

答 適切な管理が行われていない空き家は近隣に影響を与える可能性があることから、迅速な対応に努めています。相談件数が増加し、調査および指導などの労力が増大したため、対応までに時間を要しているところ。また、対応が困難な事案も多いことから、所有者の当事者意識の向上を図ることや実施体制の拡充が課題であると認識しています。

問 災害時の被害を最小限に抑えるとともに、的確な救援と迅速な復興を進めるため、被災状況の早期把握が重要と考えますが、本市で導入しようとしている災害情報管理システムは、国の新総合防災情報システムのような情報集約・共有機能を備えているのですか。

答 本市では、令和5年7月豪雨災害時の情報共有に課題があったことを踏まえ、災害情報の地図化を目的に、7年度当初予算に災害情報管理システムに係る経費を計上したところです。同システムは、本市の被害状況等を住宅地図上に集約し、災害対策本部等と情報共有する機能を備えているほか、被災の状況などをホームページで公開する機能も有することから、市民への情報提供や避難行動の一助となり、災害時における体制の強化等につながるものと考えています。

傍聴者の声 ～本会議を傍聴した方から議員が感想を伺いました～



70代 女性
主婦

「市民が今聞きたい」内容を議員が質問しており、頼もしく、ありがたく思いました。市民一人一人に優しいまちづくりに、全身全霊で取り組んでほしいと思いました。

市民の代表である議員が一生懸命に質問していました。秋田市を変えてほしいと思いました。



40代 男性
自営業



60代 男性
無職

議場に入るのは初めてでした。木材を使った議場の落ち着いた雰囲気と緊張感がある中で、市長や幹部職員が議員の質問に答えている様子をじかに見ることができ、また行くべきだと感じました。

議場での音声が少し聞き取りにくかったです。



80代 女性
無職



30代 女性
サービス業

初めて傍聴しました。思っていたよりも幅広い世代の方が傍聴していて驚きました。一般質問でのやりとりを聞き、市が行っている事業について知ることができて良かったです。

秋田市議会の本会議は自由に傍聴できます。
ぜひお気軽にお越しください！



一般質問

議員の質問項目や本会議の録画映像をホームページからご覧いただけます。

議員の質問項目 ⇒
(一般質問)



本会議の録画映像 ⇒



移動診療車の今後の運用 学校給食費の無償化

フロンティア秋田
佐藤 哲治
さとう てつじ

◇市長の政治姿勢◇終活支援
◇空き家対策◇地域医療◇人口減少・少子高齢化◇子育て・教育環境の充実◇安心安全な市民生活◇市職員の待遇改善
◇秋田市カスタマーハラスメント防止条例◇条例の点検

問 市の財政支援により秋田大学医学部附属病院が導入した移動診療車の今後の運用について、市としてどのような働き掛けを行っていくのですか。また、市民に対してどのように周知していくのですか。

答 本市では、導入を支援した遠隔医療システム搭載車両を用いて、令和6年3月20日から、岩見三内地区で診療を実施しているところですが、診療を実施する地区等については、本市と秋田大学が協議して決定することとしており、今般、同地区に加えて、大正寺地区での診療実施を決定し、現在、診療開始に向けて、必要な準備を進めているところ

ろです。今後、市内での診療を拡大することとしていますが、引き続き、大学と緊密に連携しながら、診療活動の充実を図り、市民により良い医療を提供できるよう、取り組んでいきます。また、実施地区での町内会長への説明会や全世帯へのお知らせなどを継続するとともに、遠隔医療に関するシンポジウムや広報等を通じて、活動内容を広く市民に周知していきます。

問 学校給食費の無償化を早急に実施すべきではありませんか。

答 物価高騰の影響等が続いている中、本市においては、子育て世代へのさらなる支援が必要であると捉えており、国への財政措置の要望を継続しつつ、今後、学校給食費の無償化を実施していきたいと考えています。



新スタジアムの整備 新スタジアム等の整備費用

秋水会
佐藤 宏悦
さとう こうえつ

◇新スタジアムの整備等◇外旭川地区のまちづくり◇卸売市場の再整備◇農業振興◇相撲振興

問 外旭川地区よりも十分な面積を確保するのが困難な八橋運動公園内に新スタジアムを整備しようとする理由は何ですか。

答 新スタジアムについては、Jリーグから整備スケジュールの前倒しを求められたことを受け、J1は1万5千人以上、J2は1万人以上とされていたスタジアムの入場可能数の基準が、5千人以上に緩和されたことや、県立体育館の建て替えに伴う公園内施設の配置変更、文化会館跡地の一体的な利活用の可能性など、周辺環境の変化等も踏まえ、早期整備が可能な八橋運動公園を整備地とすることで、県およびブラウブリッツ秋田と合意したものです。

問 新スタジアムおよび第2球技場等の代替地の整備費用は、物価高騰により、掛かり増しになると予想されますが、市民への理解をどのように求めていくのですか。

答 新スタジアムや代替地の整備費用については、規模や形状のほか、附帯する設備機能などによって大きく変わることから、昨今の建設費高騰なども踏まえ、今後、県や競技団体をはじめとする関係者と協議した上で決定していきたいと考えています。また、(仮称)新スタジアム整備基本計画を策定する過程においては、パブリックコメント等も実施し、市民からの意見を伺うとともに、同計画がまとまった段階で、新スタジアムの整備内容等について、機会を捉えて丁寧の説明していきます。

議会の動き

2月6日 各派会長会議
議会運営委員会

2月12日 2月定例会
(3月18日まで)

4月2日 編集委員会



本会議での質問者順に、質問項目および主な質問と答弁要旨を掲載しています。
掲載する項目と質問は、質問者自身が選定しています。

一般質問



下水道管の老朽化等
新スタジアムの整備

市民クラブ
安井 誠悦

◇新時代のスタジアム等◇中
心市街地の活性化◇上下水道
の安全性◇自殺対策

問 本市において、下水道管の老朽化等により道路陥没が起こる恐れはないのですか。また、その点検および修繕・更新等の現状はどうなっているのですか。

答 本市では、パトロールにより路面の変化などを確認する日常点検を行うとともに、腐食の恐れがある279カ所を対象に、5年に1回法定点検を行い、不具合を確認した場合には、速やかに修繕を実施しています。また、「秋田下水道ストックマネジメント計画」に基づき、管の内部から改修する管渠更生工法による改築を進めているところです。これらの点検と改築の適切な実施により、市民生活の安全、安心の確保を図っていきます。

問 ブラウブリッツ秋田のJ1クラブライセンスは、新スタジアムの整備が要件となっている中で、既存施設の改修ではライセンスを失う恐れがありますが、どう考えているのですか。

答 ブラウブリッツ秋田に対しては、Jリーグから「スタジアムの新設を前提としてクラブライセンスが交付されており、ソユースタジアムの大規模改修では、新スタジアム整備とは認められない」と明言されているほか、ASPスタジアムでは、地下埋設物などを含む周辺環境から、緩和された入場可能数5千人規模であっても、Jリーグの基準を満たすスタジアム整備は現実的に困難であり、ライセンスの不交付を避けるためにも、引き続き、県やブラウブリッツ秋田と共に、新スタジアムの早期実現に取り組んでいきたいと考えています。



あきた市議会だよりに 広告を掲載しています

Q なぜ、広告を掲載するの？

- 秋田市議会では、全戸配布という情報発信力の強みを生かし、令和7年度に発行する「あきた市議会だより」に広告を掲載することとしました。
- 広告掲載により得られた収入は、「あきた市議会だより」の発行にかかる経費に充てていきます。
- 「あきた市議会だより」は、令和4年に行ったアンケートで、紙による全戸配布の継続を望む声をいただいていることから、デジタル化が進む現在においても、秋田市にお住まいの皆様にお配りしています。

Q 年何回発行し、どのくらい配布しているの？

- 「あきた市議会だより」は、年4回（おおむね5月、8月、11月、2月）発行しています。
- 1回当たりの配布部数は、約13万8千部です。

※ 広告の掲載を希望する場合は、議会事務局議事課までお問い合わせください。

電話 018 (888) 5784

予算決算委員会各分科会の審査から（令和7年度当初予算）

総務分科会

総務部、企画財政部、デジタル推進本部
会計課、消防本部などの所管事項

委員 戦後80年平和祈念事業について、令和7年度は戦後80年という節目の年に当たりますが、平和事業の具体は何ですか。また、全国的にも戦争体験の風化が懸念される中で、本市はどのように取り組んでいくのですか。

企画財政部 本事業では、本市と市民団体で実行委員会を組織し、紛争地域で活動を行う本市出身のフォトジャーナリストによる講演会および写真展、小・中学生を対象とした国際平和絵画コンクール、コンサート等を開催する予定です。また、本市においても戦争を経験した市民の高齢化等により、その継承が困難な状況を迎えていることから、10年ごとの節目に大規模な祈念事業を開催することに加え、市民団体へ可能な範囲で支援を行うことなどにより、必要な取り組みを継続していきたいと考えています。

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 遠隔医療推進事業費補助金について、秋田大学医学部附属病院が運用している遠隔医療システム搭載車両への医療機器等の整備費用を補助しようとするものですが、本市が全額補助する理由は何ですか。

保健所 医療提供体制の確保は、本市の責務であり、遠隔医療を推進する同病院の取り組みを支援することは、地域医療の体制強化につながることから、遠隔医療システム搭載車両への医療機器等の整備にかかる費用について、本市が全額補助しようとするものです。



遠隔医療システム
搭載車両

教育産業分科会

観光文化スポーツ部、産業振興部、教育委員会、農業委員会の所管事項

委員 令和7年度の当初予算編成において、財政状況が厳しい中で、観光文化スポーツ部門として、どのような点に注力したのですか。

観光文化スポーツ部 このたびの当初予算編成においては、酒と発酵をテーマとした冬季誘客コンテンツ充実事業をはじめとするアフターコロナで回復しつつある観光需要を維持するための事業を継続するほか、7年10月にリニューアルオープンする佐竹史料館の整備を単独の事業にとどめず、6年に開通した大手門の堀遊歩道へのアクセス性の向上により、周遊性を高めるなど、ウオーカブルなまちづくりにつなげるため、周辺環境の整備費等の確保に努めたものです。



建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 仁井田浄水場等整備事業について、今後想定される資材価格や人件費等の高騰による事業費の増に對し、どう対応していくのですか。また、大規模事業が集中する中、事業費の増大は、水道事業全体に影響を及ぼすことが懸念されますが、どのように事業を執行していくのですか。

上下水道局 資材価格等の高騰により事業費が増額となった場合は、事業者と協議していくこととなりますが、その財源については、企業債や建設改良積立金等を充当することで対応していきたいと考えています。また、大規模事業が集中する期間においても、老朽管対策などは継続していく必要があるため、優先順位等を考慮した上で、各年度における事業量の調整を行うなど、水道事業全体の収支状況を見極めながら事業を執行していきたいと考えています。

予算決算委員会各分科会の審査から（令和6年度補正予算）

厚生分科会

市民生活部、福祉保健部、保健所、子ども未来部の所管事項

委員 介護保険事業財政調整基金積立金について、毎年同程度の金額を積み立てていますが、基金残高が約60億円と高額なことから、今後、被保険者に還元していく考えはありませんか。

福祉保健部 同基金は、保険給付に要する費用が不足する場合の当該不足額や災害等により生じた減収分を補填するために積み立てているものであり、その原資は被保険者の保険料であることから、3年ごとの保険料見直しの際には、同基金の取り崩しも含めた被保険者の負担軽減に努めていきたいと考えています。



建設分科会

環境部、建設部、都市整備部、上下水道局の所管事項

委員 地方バス路線維持対策経費について、バス事業者に対して、赤字バス路線への助成および幹線バス路線への支援等を行うものですが、2千471万1千円を減額しようとする理由は何ですか。

都市整備部 当該経費については、令和5年度の実績に基づいて6年度当初予算を計上したのですが、運転士不足や働き方改革関連法施行に伴う労働時間見直しの影響により、路線の廃止や減便が増えたことに加え、5年度に比べ、運行路線の収支状況が改善したことにより、補助対象路線が減少したため、減額しようとするものです。



6月定例会のお知らせ（予定）

日程

6月4日	本会議
13日、16日	本会議「一般質問」
17日	常任委員会
18日	常任委員会
19日、20日	常任委員会・分科会
23日	常任委員会
25日	常任委員会
27日	本会議

一般質問予定者

見上万里子、渡辺正宏（秋水会）
藤枝隆博、小林一夫（フロンティア秋田）
工藤潤平、小野寺誠（自民党）
武田正子（公明党秋田市議会）
小松健（そうせいと維新）
花田清美（市民クラブ）

次回のあきた市議会だよりは令和7年8月1日発行予定です。



※秋田市議会では、本会議や常任委員会などを傍聴できます。
日程および一般質問予定者は変更になることがありますので、議会事務局までご確認ください。

広告



／ 憧れの在宅ワークもできちゃう！ ／

子育てママ・パパも

デザインで在宅ワーク♪

Try it!



デザインスクールの無料体験をお試いただけます

オンライン講座あり
自宅で学べる
デザインスクール

デザインを学んでスキルアップ・副業・転職・独立・趣味等可能性を広げよう!!



大阪府高槻市城北町1丁目14-17-501 TEL.072-668-3275 運営/株式会社ウィット

広告



相続



評価額



施設入居



転居

不動産の売却はミサワホームへ

相続した不動産のご相談が増えています

無料査定&無料相談実施中

※一部対応外のエリアもございます

●宅建業免許/国土交通大臣(9)第3827号 ●(公社)秋田県宅地建物取引業協会会員

住まいを通じて生涯のおつきあい



東北ミサワホーム 秋田支店

〒010-0916 秋田市泉北1-7-11 018(824)1111

【不動産課】0800-300-6330

不動産サポート秋田

受付時間 9:00~18:00(定休日:火曜・水曜・第1日曜日)

